

函館市観光基本計画2014－2023

実施状況報告書

令和5年（2023年）2月

函館市観光部観光企画課

目 次

1. 函館市観光基本計画2014－2023の概要	1
2. 目標値の達成状況.....	2
(1) 観光入込客数.....	2
(2) 平均宿泊数.....	3
(3) 観光客満足度.....	4
(4) 来函外国人宿泊者数.....	5
3. 施策および具体的取り組みの実施状況・今後の方針	6

1. 函館市観光基本計画2014-2023の概要

《計画策定の目的》

函館市の観光基本計画は、時代の流れや旅行ニーズの多様化に合わせ、過去3回にわたり策定してきた。この度、次の時代へ向けた函館観光の更なるステップアップを図ることを目的に、新たに第4次となる函館市観光基本計画を策定した。

《計画期間》

2014年度から2023年度までの10年間

《基本理念》

人・まち・文化の宝石箱 新・国際観光都市 函館へ

《基本方針》

交流・にぎわいの創出

市民と観光客がともに集い、楽しむことで、様々な交流が生まれる、にぎわいのあるまち

おもてなし・満足度の向上

観光客の満足度が極めて高い、おもてなしにあふれたまち

国際化の促進

海外からの観光客が安心して快適に楽しめる、世界に通じる観光のまち

《5つのキーワード》

函館ブランド

プロモーション

ホスピタリティ

もう一泊したいまち

MICE

《目標値の設定》

北海道新幹線開業を契機とした観光入込客数の底上げ
観光入込客数 **550万人**の達成

平均宿泊数の増加

2023年度平均宿泊数の目標値 **1.28泊**

函館の印象について、「とてもよい」の回答率向上

2023年度観光アンケート調査「函館の印象」の目標値 「とてもよい」の回答 **80%**

来函外国人宿泊者数の増加

2023年度外国人宿泊者数の目標値 **30万人/年**

《施策》

- 街並み・歴史的建造物の保全・活用の推進
- アートディレクション機能の充実
- 広域連携の推進
- 魅力ある食・土産品の創造および周知
- ホスピタリティ意識の醸成および顕在化
- 市内における観光情報の充実
- 交通アクセス環境の整備
- 周遊性の向上
- 祝祭都市に向けた取組み
- 長期戦略形成へ向けた取組み
- 新たな観光資源の創出
- 観光メニューの充実
- 秋冬の魅力の向上や発信
- 市民主体の歓迎
- 人材の育成
- 多様な媒体を通じた情報の発信
- 空港・港湾機能の充実
- MICE受け入れの強化
- 誘致宣伝活動の実施

2. 目標値の達成状況

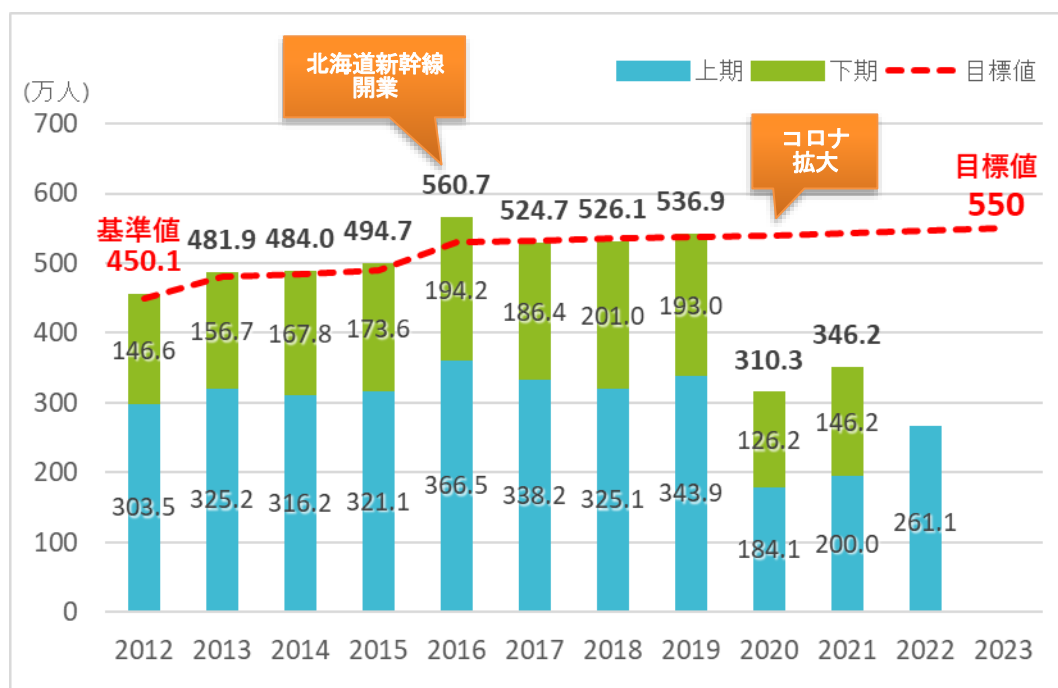
本計画では、北海道新幹線の開業を契機とし、観光入込客数の拡大を目指すと同時に、宿泊数の増加や満足度の向上といった目標を設定し、地域経済に効果の大きい滞在型観光の実現に向けた取り組みの積極的な推進を掲げた。2023年度を目標年次に目標値を設定しており、各目標の実績と達成率は次のとおり。

※2020年度以降コロナにより数値に大きな変動があったため、2019年度の達成率を併記

(1) 観光入込客数

目標：北海道新幹線開業を契機とした観光入込客数の底上げ

基準値	目標値	実績／達成率 2019年度	実績／達成率 2021年度
450万人	550万人	536万人／97.5%	346万人／62.9%



資料：「来函観光入込客数推計」

北海道新幹線開業を契機として観光入込客数の底上げを図るべく、2012年度（平成24年度）に450万人であった観光入込客数を2023年度（令和5年度）に550万人にすることを目標に掲げた。

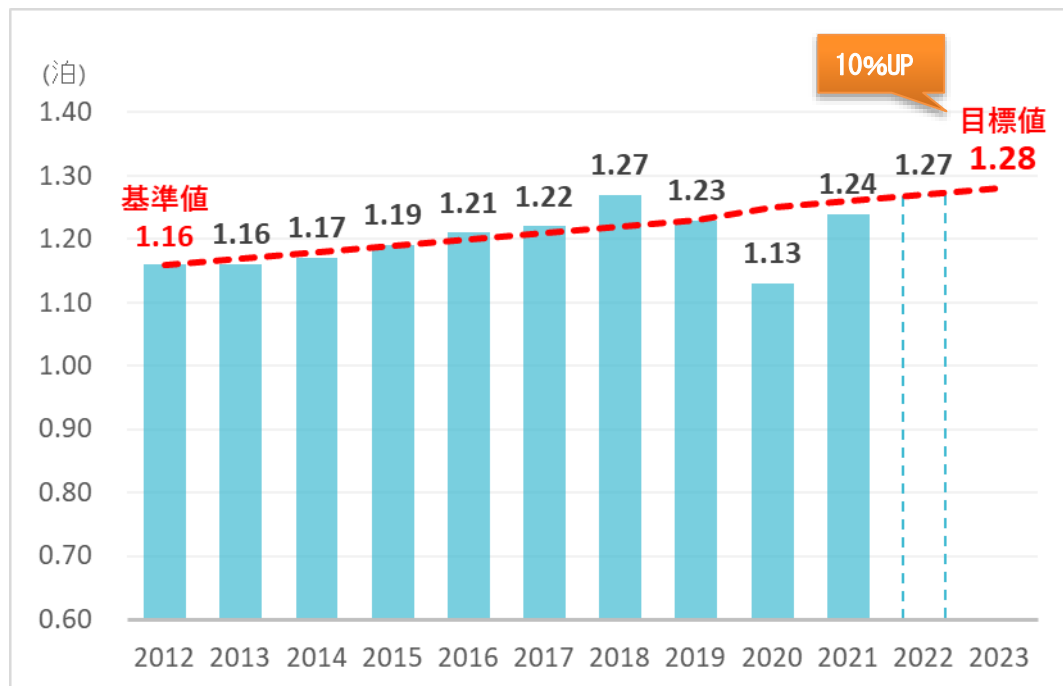
新幹線開業効果により2016年度に約560万7千人を記録し目標を達成したものの、その後は目標値に届かず推移、2019年度については、12月頃まで2016年度に迫る入込状況であったが、2020年1月以降の新型コロナウイルス感染症の拡大を受け観光客が減少、年間では約536万9千人となった。

2020年度以降、緊急事態宣言などによる旅行需要の減少を受け、2021年度は346万2千人となり、達成率は62.9%となっている。

(2) 平均宿泊数

目標：平均宿泊数の増加を目指す。

基準値	目標値	実績／達成率 2019年度	実績／達成率 2021年度
1.16泊	1.28泊	1.23泊／96.8%	1.24泊／96.9%



資料：「来函観光入込客数推計」
※2022（破線）は上期の数値

平均宿泊数は、現計画以前からの増加傾向を維持していくことに重きを置き、当時の北海道における平均宿泊数に関する目標値を参考にしながら、2012年度（平成24年度）の平均宿泊数1.16泊を1.28泊（10%増）にすることを目標に取り組むこととした。

計画初年度以降、平均宿泊数は徐々に増加し、2018年度には目標値にあと0.01泊となる1.27泊となった。2019年度においても、上期では1.28泊となったが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、年間では1.23泊となった。

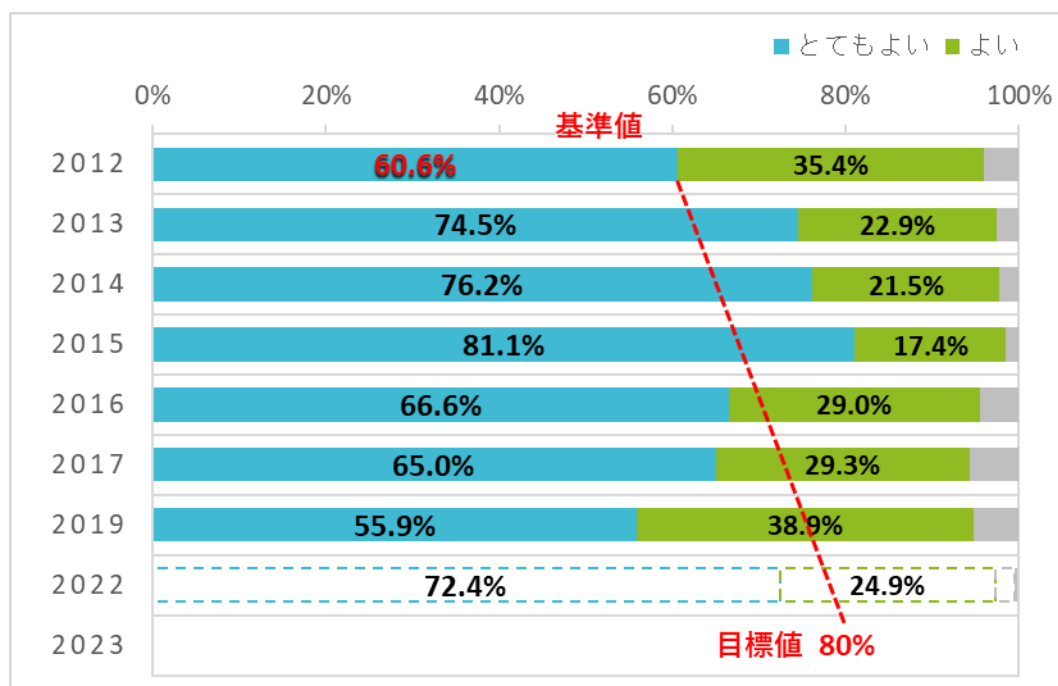
2020年度には1.13泊と期間中で最低を記録しているが、これはコロナによる行動制限などを受け、道内客（近場の旅行＝短期間）割合が増加したことなどの影響が考えられる。

2021年度はコロナ禍前の状態に戻りつつあり、2022年度上期は1.27泊となっている。

(3) 観光客満足度

目標：函館の印象について、「とてもよい」の回答率向上を目指す。

基準値	目標値	実績／達成率 2019年度	実績／達成率 2021年度
60.6%	80.0%	55.9%／69.9%	72.4%／90.5%



資料：「函館市観光動向調査」

※2022(破線)は暫定値 (R4 函館市観光動向調査より)

おもてなし・満足度の向上実現を確認するための指標は、本市が実施する観光客へのアンケート調査に基づく「函館の印象」とし、そのなかで「とてもよい」の回答率を、北海道の満足度の目標値を参考にしながら、2012年度(平成24年度)に60.6%だった回答率を80.0%にすることを目標に取り組むこととした。

計画期間中は、2015年度に81.1%と目標の80.0%を達成したものの、それ以降は目標値に達せず、2019年度は55.9%となっている。

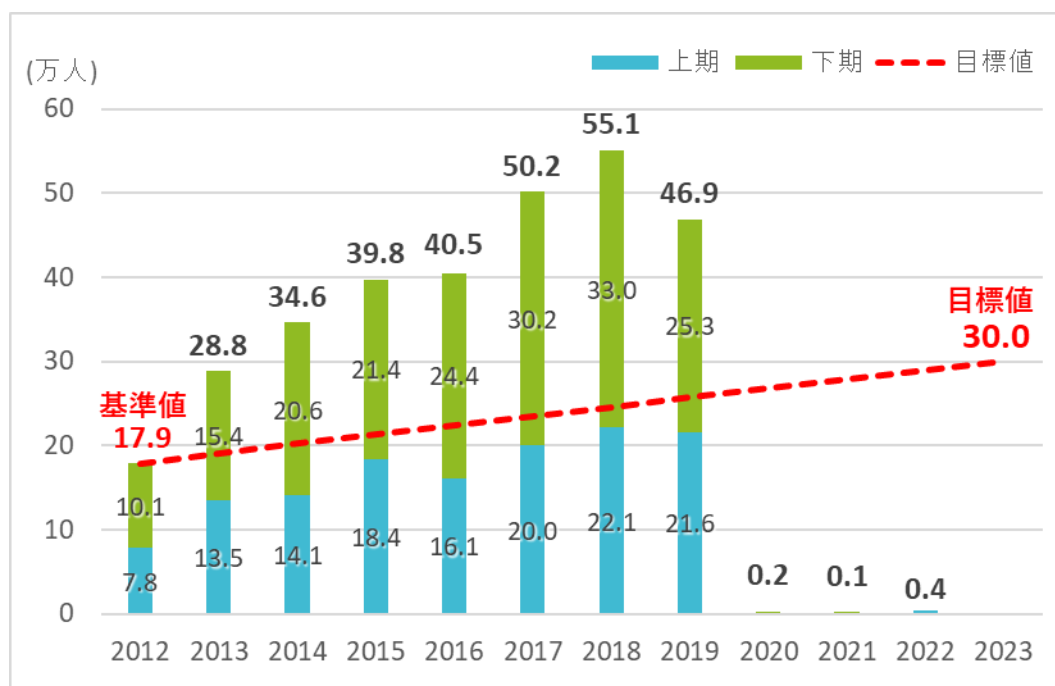
また、2019年度に外国人観光客へ同様の調査を実施したところ、「とてもよい」の回答率は55.3%、「よい」が41.0%（「とてもよい」と「よい」を合わせた割合は96.3%）となっている。

なお、暫定値ではあるが、現在実施中の2022年度函館市観光動向調査の4～9月までの集計結果では、「とてもよい」が72.4%、「よい」が24.9%となっている。

(4) 来函外国人宿泊者数

目標：来函外国人宿泊者数の増加を目指す。

基準値	目標値	実績／達成率 2019年度	実績／達成率 2021年度
17.9万人	30万人	46.9万人／156.3%	0.1万人／0.3%



資料：「来函観光入込客数推計」

国際化の促進の進捗を確認するための指標として「来函外国人宿泊者数」を設定し、2012年度（平成24年度）に約17万9千人であった宿泊者数を2023年度（令和5年度）には30万人にすることを目標とした。

来函外国人宿泊者数は、アジア圏の北海道人気や円安傾向などを背景に好調に推移。計画初年度の2014年度には目標値である30万人を達成した。

その後も、訪日ビザの緩和や新規国際定期便の就航などにより増加を続け、2017年度には初の50万人を突破、2018年度には、胆振東部地震のマイナス要因があったものの、中国からの宿泊客が前年比139.7%となるなど、年間では約55万1千人となり過去最高を記録した。

2019年度は、日韓関係の悪化や2020年1月以降の新型コロナウイルス感染症の拡大などにより、前年比14.9%減、達成率としては156.3%となっている。

コロナの感染拡大後は入国制限によりほぼゼロの状態が続いていたが、2022年6月に外国人観光客の受入が再開、10月11日には個人旅行解禁、入国者上限が撤廃され、函館を訪れる外国人観光客も徐々に回復傾向を見せている。

3. 施策および具体的取り組みの実施状況・今後の方針

観光基本計画に登載している19の施策を構成する85件の具体的取り組みについて、函館市の所管部局に2022年度末までの実施状況と今後の方針や課題等について聴取を行い、以下のとおり取りまとめた。

○街並み・歴史的建造物の保全・活用の推進

1-1. 伝統的建造物の保存・活用	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的建造物群保存地区保存事業（修理等） 38件（2014～） ～伝統的建造物群保存地区内において、「伝統的建造物」の管理および修理、一般建築物の修景、環境物件の復旧に要する経費を補助。 ・指定建造物等活用支援事業（改修） 22件（2016～） ～「伝統的建造物」の小規模改修に要する経費を補助。
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・終期が定まっていないため、今後も引き続き継続していく。
1-2. 都市景観の形成に関する各種助成制度の利用促進	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・景観形成指定建築物等保全事業 25件（2014～） ～都市景観形成地域内（伝統的建造物群保存地区を除く）において、都市景観の形成上重要な価値があると認められる建築物等その他の物件を「景観形成指定建築物等」として指定し、外観修理や耐震補強に要する経費を補助。 ・指定建造物等活用支援事業 22件（2016～） ～「景観形成指定建築物等」の小規模外観改修等に要する経費を補助。 ・景観形成住宅等建築奨励金制度 8件（2014～） ～西部地区都市景観形成地域内（伝統的建造物群保存地区を除く）において、函館らしい歴史的な景観に配慮した建物を新築または購入する場合、既存の建物を函館らしい歴史的な景観に配慮した建物に改修する場合に奨励金を交付。
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・終期が定まっていないため、今後も引き続き継続していく。

○新たな観光資源の創出

2-1. さらなる観光資源の創出と活用	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・五稜郭築造 150 周年記念事業（2014） （「五稜郭おもてなし隊」，リトファスゾイレの設置等） ・「恋人たちのまち函館」プロモーション実施（2018） ・「フェスティバルタウンはこだて」の取組開始（2018～） ・外国人観光客向け体験型商品造成（2019～ OTA で販売）
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・「フェスティバルタウンはこだて」に係る情報発信を継続，取組の浸透を図る。 ・外国人観光客向け体験型商品については，ニーズの変化等踏まえ 2023 年度に見直しを実施，アジア圏を中心とした FIT 層に選ばれるよう磨き上げを行う。
2-2. 既存観光資源等の再整備の推進	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・旧北海道庁函館支庁庁舎の外壁等改修（2015） ・観光街路灯整備，旧イギリス領事館外壁改修，函館山山麓観光駐車場整備（2019） ・五稜郭観光照明塔整備（2020～2023） ・旧函館区公会堂リニューアルオープン（2021） ・旧北海道庁函館支庁庁舎リニューアルオープン（2022）
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・既存観光資源の設備については，設置から年数が経過し老朽化が進んでいるため，必要に応じ魅力向上のための活用方法を検討しながら補修・整備を行っていく。
2-3. グリーンプラザや市道広小路の整備	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・はこだてグリーンプラザ整備基本計画策定，基本設計実施（2016～2017） ・ナイトエコノミー実証事業「はこだて夜祭り in グリーンプラザ」（2018～2019） ・「HAKODATE LUMI-POP」（2021～）
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・はこだてグリーンプラザの整備実施時期は未定 ・イルミネーションの実施については，新型コロナウイルス感染症の地域への影響や他のイルミネーションの実施状況を踏まえ検討。
2-4. はこだておもしろ館の整備	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・2016 年 10 月「はこだてみらい館」オープン（キラリス函館 3 階）
2-5. 函館駅に隣接した新たな観光施設の整備	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・2019 年 12 月 ホテルと店舗からなる複合商業施設をオープン

○アートディレクション機能の充実

3-1. 函館ロゴマークの活用	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・申請承認件数 392件（2014～2021） ※市利用分を除く ・商用利用開始，市の各種事業への積極的な利用，各種グッズ配布（2014～）
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き本ロゴマークの活用促進に努める。

3-2. 視覚的にわかりやすい案内板・標識の整備	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・新島裏説明板の設置（2014），経年劣化等による盤面の更新（2014～2016） ・観光標識等の清掃による美化（2014～） ・道路管理者が所管する歩行者用案内標識17基の標示変更（2019）
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客の利便性向上のため，今後も観光標識等の盤面の更新を実施するなど，適切な案内表示を維持していく。

3-3. 観光情報の総合的な調整	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・新幹線開業に向けた集中PR「函館キャンペーン」の各種宣材へのキャッチフレーズ（「続きは，函館で。」）や函館ロゴマークの使用（2014～2016） ・恋人たちをテーマにした情報発信開始（2017～） ・冬季観光PR「冬に恋。函館」（2017～2019） ・「フェスティバルタウンはこだて」（2018～） ・二次元アイドルグループ「HAKOMEN」を活用したWEBやSNSを中心とした観光プロモーションの実施（2021～）
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・「HAKOMEN」，「フェスティバルタウンはこだて」の取組を継続。

3-4. 美しいまちづくりの推進	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・計画上，都市空間の形成に関連する施策を実施する際には，「美しいまちづくり検討会」への意見聴取を実施することとしていたが，同役割については，景観アドバイス制度，都市景観審議会などの活用により実効性が確保できるため「美しいまちづくり検討会」は廃止（2015）。

3-5. 景観アドバイザーによる景観誘導のための技術的支援	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・景観アドバイス制度（2014～） ～景観法に基づく届出や屋外広告物の許可申請の前に，景観アドバイザーから技術的アドバイスを受ける制度 利用実績：民間 32件，公共 18件，事前協議における助言 9件，景観形成住宅等建築奨励金 8件
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・終期が定まっていないため，今後も引き続き継続していく。

○観光メニューの充実

4-1. ニューツーリズムの推進	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・リゾートウェディングのPR ・関係団体と連携したサイクルツーリズムの推進 ・「Goo-Route Hakodate」による体験メニューの発信 ・外国人向けに旅行会社やメディアを通じた体験メニューの発信
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・関係団体と連携し、今後もサイクリングルートの検証を継続し、サイクリングコースの造成を行う。

4-2. 外国人観光客向けの観光メニューの作成	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・クルーズ客へ日本文化体験メニューの提供（2017） ・ニセコで働く外国人を招請し、縄文コンテンツを紹介（2018） ・各国の旅行会社・メディア等を招請し、恵山・水無海浜温泉等を紹介（2019） ・函館、松前、上ノ国、江差において「歴史」をテーマに縄文文化交流センターや恵山を含む広域観光のモデルルートの造成、販売（2021～2022）
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・旧函館山要塞や恵山を活用したトレイルハイキングなどソフトアクティビティのコンテンツ化を進め、AT都市・函館としてさらなるブランド化を図る。

4-3. まちあるき観光の充実	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・まちあるきガイド育成のための研修等の実施（2014～2016） ・まちあるきマップの作成、新コース追加、随時情報更新
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・2023年度以降は、現行の27コースから厳選した6コースに縮小予定。代替ツールとして、「はこぶら」の既存コンテンツである「おすすめコース」（全18コース）の提供を継続する。

4-4. 修学旅行向け体験メニューの充実	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行会社や学校へ函館に求める体験メニューの聞き取り調査 ・北斗市や七飯町、渡島総合振興局と連携した函館圏での体験メニューの充実 ・「教育旅行版 Goo-Route」作成（2018）
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領で示された学びの方向性を踏まえた上で、新たな体験メニューの開発、掘り起こしを官民連携により推進していく。

4-5. 夜の観光メニューづくり	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・民間主体の取り組みとして、西部地区バル街をはじめ、大門バルや五稜郭バルなど参加者の交流が深まる飲み歩きイベントが好評を得ている。 ・JR 函館駅前・大門地区で外国人観光客向けライブイベントを実証実験（2019）
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・行動制限や、入国規制の緩和などの状況を見極めながら検討・実施していく。

○広域連携の推進

5-1. 広域観光コンテンツの磨き上げ	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・「はこだて旅するパスポート」発行（北海道新幹線新駅沿線協議会）～販売促進を目的とし台湾人 KOL を招請, 情報発信, アンケート調査実施 (2020) ・「Goo-Route Hakodate」の発行 (2011～) ・道南・東北の体験メニュー集「はこだて体験の旅」発行 (2014～2015) ・「青函圏周遊ぐっとくる旅」発行, PR 動画作成 (青函圏観光都市会議) ・函館, 松前, 上ノ国, 江差において「歴史」をテーマに縄文文化交流センターや恵山を含む広域観光のモデルルート of の造成, 販売 (2021～2022) ・「はこぶら」内に道内の縄文遺跡群等の広域周遊ドライブルートの特設ページを開設 (2022)
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・「はこだて旅するパスポート」の販売実績・傾向の把握, 旅行代理店に向けたプロモーション活動を継続し, 旅行商品パンフレットへの掲載数を増やすことで発地での購入機会拡大を図る。

5-2. 広域連携による観光メニューの充実	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・他の自治体と連携し広域観光メニューの充実を図った。 ・青函圏みなみ北海道連絡会議設立 (WEB を利用した一元的な魅力発信) (2014) ・「青函圏マラソンラリー」 (青函圏観光都市会議) (2014～2018) ・青森・函館おすすめコースを「まっふる」にて発信 (青函観光宣伝協議会) (2015) ・「青函圏周遊博」の開催 (青函圏観光都市会議) (2016) ・「Goo-Route Hakodate」に青森, 秋田津軽エリア, みなみ北海道の周遊ルート紹介を追加 (2018～) ・「ひろはこ連携推進実行委員会」を設立 (相互誘客・周遊観光促進) (2022)
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・広域連携におけるあり方を検討し, 引き続き圏域における周遊観光促進を図っていく。

○秋冬の魅力の向上や発信

6-1. 秋冬の魅力の発掘と発信	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・秋冬のイベントに関して、イベントの実行委員会のHPのほか、市観光情報サイト、WEB、SNS、誌面など様々な媒体を活用し情報発信を実施。 ・海外向けには、台湾・中国・韓国・香港・タイ・シンガポール・インドネシア・フィリピン・マレーシア・豪州に対し、現地旅行博やイベントで情報を発信したほか、旅行会社・メディア等の招請、WEB・SNSによる情報発信を実施
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・国内向けには、引き続き「はこぶら」による発信を継続するほか、様々な媒体の活用、各種イベントでのPRにより情報発信を行う。 ・海外向けには、引き続き雪など外国人観光客に人気のある秋冬コンテンツのPRを実施していく。

6-2. 秋冬イベントの見直し	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・「はこだて冬フェスティバル」 ～函館駅前・開港通りで新規イルミネーション実施、 海上冬花火規模拡大（2014） ～函館駅前広場でのイルミネーションを市直轄事業として独立、拡大（2015） ・「はこだてクリスマスファンタジー」 ～プレミアムレッドツリーの開始（2015） ～レーザー演出、花火回数増（20回記念特別企画）（2017） ・「はこだてMOMI-Gフェスタ」温かい飲食物の提供（2017～） ・「はこだてひかりのガーデン」（2018～） ・「湯の川冬の灯り」（2019～）
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・より効率的かつ効果的な冬季誘客を図ることを目指し、新たな冬のイベントについて、既存イベントの統合なども視野に入れた検討を進める。

○魅力ある食・土産品の創造および周知

7-1. (仮称) 函館観光物産館の整備検討	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・アンテナショップ2号店「ローソン世田谷奥沢5丁目」オープン (2018) ・アンテナショップ1号店「ローソン京橋駅前店」閉店 (同店閉店による) (2020)
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・地場産品の販路拡大や地域ブランドのPR, 観光情報の発信等を行うため, 既存アンテナショップの運営を継続する。

7-2. 函館朝市ひろば (旧渡島ドーム) を中心とした朝市における食の発信	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・「市民感謝祭」の開催支援 (2015～) ・「光の夜市」の開催支援 (2017～) ・「函館朝市&函館駅前大門」地域連携フェアの開催支援 (2018～) ・GoTo 函館朝市「歳末大売出し!」の開催支援 (2020) ・函館朝市プレミアム付き商品券発行事業の支援 (2021～) ・函館朝市地ブリショップの開設支援 (2022)
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・朝市における各種事業を支援することにより, 朝市のイメージアップや魅力向上を促進する。

7-3. G-site (五稜郭グルメ村) の整備	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・複合施設「五稜郭ガーデン」整備 (株式会社まちづくり五稜郭) (2015)

7-4. 観光物産展の開催および参加	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道の物産と観光展 (2014～) ・青函物産展 (青森市・青森物産協会・函館物産協会による共働) (2014～) ・タイ FIT フェアなど各市場での旅行博・イベント等に参加 (2014～) ・北海道・函館フェア開催 (タイの日系百貨店) (2015) ・遠東百貨 函館物産展開催 (台湾) (2017～2018)
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・国内では, 市内食品関係企業の販路拡大を支援するため, 今後も全国の百貨店等で函館物産展を開催するほか, 「北海道の観光と物産展」 (主催: 北海道等) に参加。 ・海外では, 今後は物産展の開催ではなく, 海外バイヤーを招へいし商談することにより継続輸出を目指す方向で検討。旅行博等の出展・参加による観光PRについては, 各国の訪日状況等を踏まえて実施予定。

7-5. 食と観光をテーマとしたイベントの開催	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・函館・東北チャリティープロモーション（2011～2016） ・函館・みなみ北海道グルメパーク（2014～2015） ・はこだてグルメサーカス（2014～） ・はこだて FOOD フェスタ（2017～）
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続したイベント開催や参加により、函館の食を広く発信するとともに、事業者間の連携を深めることで、「食」の魅力向上を図る。 ・イベント実施にあたっては、新たなイベント構築の検討も行う。

7-6. 幅広い食の周知	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・国内食品スーパー等と連携した「函館フェア」の開催 ・WEB サイト「おいしい函館」の運営（2018～） ・地域メニュー「焼きピロシキ」, 「はこだてチャウダー」等の広報支援 ・地域製品の消費拡大を目的とした料理教室, 料理コンテストの開催 ・道内外のイベントへの出店, 各種媒体を活用した「食」のPR
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・WEB サイト（「おいしい函館」「はこぼら」）により継続的に地域の食に関する情報を発信。また SNS を効果的に活用した情報発信を強化。 ・地域メニューなど地域資源を活用したグルメや地域ブランドの消費拡大・認知度向上に寄与する事業・イベント開催を支援する。

7-7. 食・土産品創造の促進	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・はこだてスイーツコンテスト（函館スイーツ推進協議会）（2014～2016） ・戸井産活ぶり, 恵山産活ぶ真鱈, グリーンアスパラ「海の神」など生産者のこだわりの込められたクオリティの高い鮮魚, 野菜等の首都圏百貨店等への販路開拓支援 ・函館圏優良土産品推奨会への参画 ・日本酒「巴桜」販売, PR の実施（2016～） ・真昆布の名称を「函館真昆布」に統一, 知名度・認知度向上に向けたPR実施（2017～） ・日本酒「五稜」販売, PR の実施（2022～）
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も函館ならではの食・土産品創造を促進する。

○市民主体の歓迎

8-1. 市民と観光客の交流機会の創出促進	
主な実績	・「はこだてグルメサーカス」, 「はこだて冬フェスティバル」など各種イベント実施を通じ市民と観光客の交流機会の創出を行った。
今後の方針	・新たなイベント構築の検討を含め, 今後も継続。

8-2. 歓送迎イベントの実施	
主な実績	<p>〈北海道新幹線開業〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キックオフイベント, 開業1年前カウントイベントの実施 (2014) ・開業300日前, 200日前, 100日前カウントダウンイベント, 「つながるニッポン祭り」の実施 (2015) <p>〈クルーズ客船〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クルーズ客船入出港時の歓迎見送りイベント実施 (2014～)
今後の方針	・クルーズ客船の歓送見送りイベントについては, 2020年度以降コロナの影響により中止している。感染状況やイベント実施についてのクルーズ船社の考え方を確認・注視しながらイベントの再開に向け検討を進める。

8-3. 道路緑化活動の実施	
主な実績	・沿道花いっぱい運動 (2014～) ～例年町会等32～49団体に協力を得て, 21～26路線の沿道の花壇整備を実施
今後の方針	・「沿道花いっぱい運動」には, まちづくりを自らの手で実現させようという, 町会等団体が多数参加している。取り組みの主体となっている町会関係者の高齢化など課題はあるが, これら住民主体の緑化活動は, 都市緑化を推進していくうえで大きな力となっていることから, 今後も市として継続していく。

8-4. 環境美化に関する活動の推進	
主な実績	・観光地等の清掃「クリーン・グリーン作戦」 (2014～) ～例年, 春と秋にそれぞれ200団体前後が参加
今後の方針	・駅前や西部地区などの観光地を含め, 美しく快適な生活環境の保全のため, 引き続き関係団体等と連携し, ごみのポイ捨て防止などの環境美化を推進する。

○ホスピタリティ意識の醸成および顕在化

9-1. 接客研修等の充実	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人観光客受入研修会，函館ハラルセミナー等（2014） ・インバウンドセミナー（ムスリム対応）等（2015） ・インバウンドセミナー（通訳ボランティアガイド育成セミナー）（2016） ・インバウンドセミナー（観光消費拡大セミナー）（2017） ・EGL ツアーズ社長によるおもてなし講演会， 在日中国人インフルエンサーによるセミナー・意見交換会（2018） ・インバウンド対応スキルアップ人材育成事業（2019）
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・計画当初に比べ，オンライン化など研修のあり方が変化しているため，手法も含めホスピタリティ向上の取組について検討を行う。

9-2. 国際交流の支援	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流事業活動補助金～シンガポール政府観光局「ツーリズム・アワード」受賞者との交流事業など70件に補助（2014～2022） ・中学生海外派遣事業～高陽市，ユジノサハリンスク市へ派遣（2014～2017） ・市立函館高等学校海外留学事業を予定していたがコロナの影響により中止，派遣予定者を対象とした国内での英語研修派遣事業を実施（2021～2022）
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により，国際交流事業活動補助金を活用したイベント自体は減っているが，イベントを通じて市民の国際理解の促進が図られ，地域の国際化の推進に寄与していることから，引き続き補助を継続していく。 ・市立函館高等学校海外留学事業については，今後も同規模での継続を予定。

9-3. まちあるき休憩ベンチ	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・基坂（1基），大三坂（1基），ベイエリア（2基）設置（2014） ※2013年度（7基）と合わせ合計11基設置。
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・2014年度事業完了。

9-4. だれでも利用できる施設への改善	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ペリー広場のスロープ化（2014） ・旧函館区公会堂に段差スロープおよび可搬型階段昇降機を導入（2021）
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・現状，緊急を要する改善箇所は見当たらない。整備等が必要な箇所が確認された場合には対応を検討していく。

9-5. 市民および観光事業者の意識啓発	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・観光ホスピタリティ講演会（2014～2017） ・EGL ツアーズ社長によるおもてなし講演会, 在日中国人インフルエンサーによるセミナー・交換会（2018） ・インバウンドリスク対応セミナー（2019） ・災害時における外国人観光客への対応情報を市HPに掲載（2019～） ・外国人観光客の受け入れに役立つツールをまとめ市HPに掲載
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・計画当初に比べ、オンライン化など講演会や発信のあり方が変化しているため、手法も含め意識啓発の取組について検討を行う。 ・災害時における外国人観光客への対応など市HPでの情報発信については今後も継続。

9-6. 観光客の安全・安心を守る体制の整備	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・津波防災に関する情報提供・講演会の実施（2014） （函館国際観光コンベンション協会主催） ・「災害時観光客サポートステーション」開設のための協定締結（2016） ～災害時に観光客が帰宅困難になった場合にホテル・旅館を一時避難所とする ・観光庁「観光危機対応」モデル地域支援事業（2021）
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も災害等の非常時を想定し、効果的な協力体制の検討を必要に応じて行っていく。

○人材の育成

10-1. 観光ボランティア団体の活動促進	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・まちあるきガイド育成のための研修等の実施（2014～2016） ・まちあるき観光窓口案内業務委託（2014～2019） ・観光ボランティアガイド育成事業（2017～2019） ・元町公園パンフレットブース，クリスマスファンタジー会場でのガイド活動の支援（2020～2021）
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も必要に応じたパンフレット等の提供など観光ガイド団体の活動支援に努める。

10-2. 「函館歴史文化観光検定」の普及・検定合格者の活動促進	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・公式テキスト作成および検定の広報周知などの協力 ・函館商工会議所が実施する上級合格者活用支援事業への協力（2016～） ・新規採用職員研修の講師に上級合格者を招くなど活躍の場の提供（2017～2018）
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き本検定事業への協力をを行う。

10-3. 有償観光ガイドの育成	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・観光ボランティアガイド育成事業（有償ガイド含む）（2017～2019）
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客の満足度を高めるため，観光ガイドを長期的に提供していくための取組を検討する必要がある。

10-4. 通訳ガイドの育成	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・観光通訳スキル向上セミナー（2014） ・通訳ボランティアガイド育成セミナー（2016） ・欧米豪市場向け観光コンテンツの造成，ガイド育成を実施（2019） ・インバウンド対応縄文ガイド育成研修（渡島総合振興局共催）（2020） ・「縄文文化」通訳ガイド人材バンク創設（2020～） ・人材バンク登録者等を対象とした研修会の開催（2021～）
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・2023年度以降は2022年度の受講者を中心に有償ガイドの育成を図る。

○市内における観光情報の充実

11-1. 多言語表記・対応の充実	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・「はこぶら」の対応言語の拡大（2022年度現在7か国語対応） ・函館市外国人観光コンタクトセンターの開設（2017～2020） ・「はこぶら」内にAIチャットボット整備（2020～） ・観光説明板等改修事業（2019） ～市内73基の盤面貼り替え，QRコード掲載により対応言語数増（1→4）
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・観光説明板については，今後も標示変更の必要性がある場合は対応を行う。 ・AIチャットボットは継続。

11-2. カード利用可能情報の提供	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・「はこぶら」において日本円を引き出すことの出来るATM及び外貨両替機の情報を提供。
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も外国人観光客のニーズを踏まえながら情報提供を実施予定。

11-3. テーマ別観光情報の発信	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・「はこぶら」においてテーマ別観光情報の発信に努めている ・市内及び近郊で開催されるイベント情報を体系化して紹介するWEBページ，フェスティバルタウンはこだて「函館イベントガイド」を開設（2018～） ・2022年度に「はこぶら」をリニューアルし，「函館イベントガイド」を統合。
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も観光客のニーズの把握に努めながらWEBやSNSを中心に，テーマ別の情報発信を継続する。

11-4. Wi-Fiの推進	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・函館市内の主要観光エリアでの無料公衆無線LANサービス「HAKODATE FREE Wi-Fi」を整備（2015 西部地区・ベイエリア，2016 駅前・大門，五稜郭，湯の川エリア，公園・ふ頭など） ・公共施設での整備（2014 箱館奉行所，2016 縄文ロマン南かやべ，2017 北方民族資料館，2018 函館市総合福祉センター，2020 旧函館区公会堂・亀田交流プラザ，2021 縄文文化交流センター，2022 史跡垣ノ島遺跡・函館クルーズターミナル） ・2018～2021 災害モードの表示言語数の拡大
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・公衆無線LANのニーズの把握に努め，観光客にとってより良い通信環境を模索し提供していく。

11-5. 観光情報の提供場所の拡大	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・観光ハイシーズンに、JR函館駅構内、五稜郭タワー等において、臨時観光案内窓口を開設し、観光情報を提供（～2020） ・観光案内所の年末年始臨時開所（～2022）
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・JR函館駅構内の観光案内所において継続的に観光情報を提供し、多様化する問い合わせに対応していく。

11-6. (仮称) 観光センターの整備検討	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・観光センターの整備は見送り、既存の観光案内所の改修、案内所員の増員、開設時間の延長など機能強化を行った。
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、地域の官民の関係者との役割分担の在り方などを踏まえて、効果的な施設整備について検討を重ねていく。

11-7. 函館市まちかど観光案内所の充実	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・まちかど観光案内所開設数 109 か所
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォン等の普及により、開設当時とは情報収集の手法が変化していることから、今後まちかど観光案内所のあり方について検討する。

11-8. バス、路面電車における観光情報の提供	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・函館バス株式会社の運行する五稜郭タワー・トラピスチヌシャトルバス車両において音声案内サービス開始（2016～） ・市電車内に設置したサイネージでの観光情報の提供（函館国際観光コンベンション協会協同） ・市電の停留所へ案内地図やモニタの設置 ・市電主要停留所における英語・中国語での車内放送（2018 中国語追加） ・市電の運行時刻等を Google マップ上に展開。経路検索の際にお得な乗車券や乗り継ぎ情報等を提供（2019～）
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・市電での情報提供については、現在の観光情報を見直しながら提供を継続する。

○多様な媒体を通じた情報の発信

12-1. 電子媒体を通じた情報発信	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・観光等案内情報端末の運用（2014～2020） ・乗換案内情報等を提供するアプリ「函館 NAVI」の開発・運用（2015～2020） ・WEB サイト「おいしい函館」（2018～） ・フェスティバルタウンはこだて「函館イベントガイド」WEB ページ（2018～） ・地域おこし協力隊による SNS を活用した商品情報等の発信（2021～2022） ・「はこぶら」リニューアル（2022） ・民間事業者等が運営している各種 WEB 媒体への情報提供
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・WEB サイト「美味しい函館」については、地域の食に関する情報を把握・集約・発信するとともに SNS を効果的に活用した情報発信を強化する。 ・「函館イベントガイド」については、「はこぶら」に統合された新ページでの情報発信を継続するとともに、フェスティバルタウンはこだての浸透を図る。
12-2. 紙媒体を通じた情報発信	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・民間出版社等が発行する各種紙媒体への記事掲載 ・イベント周知における民間出版社等の各種紙媒体の活用
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き紙媒体の活用を行う。
12-3. 放送媒体を通じた情報発信	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市内 FM 放送やケーブルテレビ等を活用したイベント・観光情報の発信 ・イベント周知における道内主要テレビ局等への出演・取材対応による各メディアでの発信
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き放送媒体を活用した情報発信を行うが、イベント周知の方法については毎年検討の上実施する。
12-4. 宿泊施設を通じた情報発信	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市内宿泊施設に観光パンフレットやイベントポスター・チラシ等の設置を依頼
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き宿泊施設に観光パンフレット等の提供を行う。また、イベント開催時の周知協力依頼についても継続する。

○交通アクセス環境の整備

13-1. 高速交通ネットワークの整備促進	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・函館新外環状道路（2020年度開通） ・函館江差自動車道 北斗茂辺地 IC～木古内 IC(2021年度開通) ・北海道縦貫自動車道 大沼公園 IC～七飯 IC(仮称)（開通未定） ・国道278号尾札部道路 豊崎～大船間（2022年度開通） ・国道278号尾札部道路 大船～大船間（開通未定）の工事を継続して実施
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道縦貫自動車道 大沼公園 IC～七飯 IC(仮称)、および国道278号尾札部道路 大船～大船間の整備促進に加え、計画路線である函館・江差自動車道 木古内～江差間、松前半島道路の調査促進および早期着手について、国等に対し要望活動を実施する。

13-2. 駐車場情報の提供	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・レンタカー会社への駐車場利用促進のチラシの配布依頼 ・GW・お盆期間のベイエリアの渋滞緩和のため、金森倉庫付近にて観光客へチラシ配布
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も駐車場情報の更新状況や渋滞状況を確認し、チラシのリニューアル等、より効果的な渋滞緩和対策を関係企業や団体等と協議し、実施継続していく。

13-3. バスの利便性の向上	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・2019年3月 路線網の再編実施計画策定 ・2021年4月 美原地区路線バス乗降場の供用開始 ・2022年4月 美原地区においてゾーンバスシステム導入
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度中の策定を目指している函館市地域公共交通計画に基づき、誰もが利用しやすい公共交通の実現を目指す。

13-4. 路面電車の利便性の向上	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・「ICASnimoca（イカすニモカ）」市電・バス導入（2016） ・中心市街地活性化計画に基づくデザイン性、利便性の高い電停整備（2014 函館駅前、2015 五稜郭公園前、2016 中央病院前、2017 千代台・松風町、2020 湯の川温泉）

13-5. タクシーの利便性の向上	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道新幹線開業に伴い、新函館北斗駅と函館市内各エリア間における定額タクシーの運行開始（2016～）

○空港・港湾機能の充実

14-1. 国際航空路線の拡充促進	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・タイの航空会社本社へトップセールスによる路線開設の要請（2014） ・就航している航空会社等へ継続運航・送客要請（台湾・中国）（2014～） ・函館空港国際航空便就航促進事業補助金交付（2016～2018） ～タイガーエア台湾，厦門航空（チャーター便），アジアナ航空（チャーター便） ・台湾の航空会社に対しトップセールスによる早期再開要請（2022）
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・国際航空路線の再開にあたっては，コロナ禍の影響により受け入れ体制（CIQ，地上支援業務）が十分に整っていないことが喫緊の課題となっていることから，引き続き関係機関と連携していく。

14-2. 国内航空路線の拡充促進	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・函館空港新規国内定期便就航促進事業助成金交付（成田～函館）（2017～2018） ・函館空港就航路線 PR 展示の実施，中部国際空港での PR（2021） ・函館空港就航路線 PR 展示の実施，中部国際空港および伊丹空港での PR，道内7空港所在自治体と北海道エアポート（株）による首都圏 PR（2022）
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響を受けた航空会社の状況を踏まえ，空港運営会社である北海道エアポート（株）と連携を図りながら，引き続き国内航空路線の拡充促進に取り組む。

14-3. 大型旅客船ふ頭の整備推進	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・岸壁の総延長 360mのうち 225mが完成，暫定供用開始（2018） ・岸壁整備完了（2020） ・「函館クルーズターミナル」完成，供用開始（2022）
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・現在，泊地の浚渫を実施しており，2020年代前半に完了予定。 ※完了後は12万総トン級の客船の接岸が可能となる

14-4. 親水空間の整備推進	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・末広地区での緑地整備（2017～2022） ～老朽化した護岸の改良整備，展望施設「東浜棧橋」整備
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・2022年3月完了

14-5. 旧函館ドッグ跡地の整備推進	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・函館市国際水産・海洋総合研究センター 運用開始（2014） ・弁天地区での緑地整備（2017～）
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・弁天地区での緑地整備については，北海道開発局が施行中の「函館港 弁天地区船溜まり改良事業」の進捗を踏まえ，令和7年度の完了を目指し，継続して取り組む。

○周遊性の向上

15-1. 周遊チケット等の充実	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・「はこだて旅するパスポート」を販売（北海道新幹線新駅沿線協議会）（2013～） ・「DohNa」の実証実験（道南エリアにおける地域交通利便性向上実務者会議）（2019～2020） ・「はこだて縄文めぐりパスポート」の販売（2022）
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・「はこだて旅するパスポート」の販売実績・傾向を把握し、旅行代理店に向けたプロモーション活動を継続。旅行商品パンフレットへの掲載数を増やし、発地での購入機会拡大を図る。
15-2. 周遊促進イベントの実施	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市を含め様々な団体によりスタンプラリーが企画・実施されている（2014～） 例）戊辰戦争終結150周年記念モバイルスタンプラリー（2019） 道南・青森 縄文「ドキドキ」スタンプラリー（2022）
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・自然景観や縄文遺跡群などの観光資源を活用した周遊促進策について、今後検討したい。
15-3. 移動支援手段の充実	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・民間事業者による五稜郭地区、元町地区における小型電気自動車レンタルサービス実証実験（2014） ・自転車レンタルサービス「はこりん」（2014～） ～北海道新幹線新函館開業対策推進機構，2017 民間事業者に事業継承

OMICE 受け入れの強化

16-1. 新たな MICE 受け入れ施設の整備	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・函館アリーナ，函館フットボールパークオープン（2015） ・函館アリーナ等を活用したコンベンション誘致活動の実施
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・函館アリーナ等既存施設の利用を積極的に PR するとともに，時代のニーズに合わせた設備の充実を関係各所に働きかけ，さらなる利用促進につなげる。 ・スポーツイベントについては，プロスポーツリーグ開催等に加え，合宿等の宿泊を伴う体験型スポーツイベントの開催により施設の活用を促進させる。

16-2. 割引パスポートの充実	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・函館国際観光コンベンション協会において，文化・観光施設への入館料の割引や特典が受けられるパスポートを作成。対象施設や割引内容について随時見直しを行いながら発行。（直近では2020年7月リニューアル）
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・函館国際観光コンベンション協会との協働により，管内の協力施設の拡大に努める。

16-3. MICE 対応窓口機能の強化	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・コンベンション主催者の様々な要望に対し適切な対応が行えるよう，函館国際観光コンベンション協会をはじめ，管内の観光事業者と連携し，会場等に関する情報提供のほか，視察受入，開催補助金の交付，歓迎看板の設置，臨時観光案内窓口の開設など，開催当日まできめ細やかな対応を実施。
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・函館国際観光コンベンション協会との役割分担を改めて明確にしたうえで，協働により MICE 開催主催者からの様々な要望に応えられるよう関係機関と協力体制を構築し，引き続き情報提供等を手厚く行っていく。

16-4. エクスカーションの充実	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・コンベンション主催者からの問い合わせに対し，ニーズや季節に合わせて恵山や縄文文化交流センターなどを紹介 ・「北海道MICE誘致推進協議会」の事業の一環で，当市から苫小牧市に至る広域周遊インセンティブモデルコースを造成（2022）
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・世界文化遺産に登録された「北海道・北東北の縄文遺跡群」や活火山「恵山」を含む東部4地域を巡る周遊ルートを構築するほか，酒蔵（日本酒）やワイナリー（ワイン）など新たな動き（酒蔵ツーリズム等）を捉えて積極的に推進していく。

16-5. 宿泊施設による受入体制の強化	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・誘致活動やアンケートなどにより得られた要望内容を宿泊施設等と情報共有するとともに、受入にあたっては、開催前から主催者や運営事業者と協議を重ね、各々のニーズを踏まえた受入体制を構築。また、新型コロナウイルス感染防止対策も徹底し、参加者が安心して参加できる環境づくりに努めているほか、コロナ禍以降主流となっているオンライン配信の設備充実について、施設関係者と情報交換を実施、環境改善に向けた取り組みを促した。
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・函館国際観光コンベンション協会と協働で、継続して施設関係者と情報交換を行い、MICE 主催者のニーズなどの情報共有を図りながら、受入環境の充実を促していく。

16-6. ユニークベニューの活用	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・MICE主催者へ函館山ロープウェイ展望台や五島軒本店など函館ならではの特別な場所・施設の紹介、体験メニューの提案を実施。 ・市内関係機関等と協議を重ね、新たなユニークベニュー（金森赤レンガ倉庫駐車場、結婚式場等）の活用を実現。
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的建造物など今まで活用されてこなかった施設・場所などの発掘を進めるとともに、MICE 誘致におけるユニークベニューの開拓、活用の意義について幅広く関係者に対して理解の醸成を図っていく。

○祝祭都市に向けた取組み

17-1. 各種イベントの観光資源化	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・各種イベントの開催支援（補助金の交付等） ・市内および近郊で開催される各種イベント自体が誘客手段となるよう、フェスティバルタウンはこだて「函館イベントガイド」ウェブページを開設し、市内および近郊で開催されるイベントを「グルメ」、「体験」、「歴史」などテーマ別に体系化して紹介した。
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントの収支状況に合わせ補助金の見直しを行いつつ開催支援を継続する。 ・情報発信については、イベントの都度手法の検討を行い、継続する。

17-2. 各種イベントの支援	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・各種祭り等を実施する団体に対し、負担金または補助金助成 ・各種イベント間での相互支援策の検討，課題共有のため主催者間で「フェスティバルタウンミーティング」を開催（2018） ・イベント主催者間の相互連携のためのメーリングリストの運用（2019～） ・「函館市イベントボランティア」登録制度創設（2019～）
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き主催者に対する支援を継続するとともに、フェスティバルタウンはこだての浸透を図る。

○誘致宣伝活動の実施

18-1. 国内外での誘致宣伝活動の実施	
主な実績	<p>〈国内〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新幹線開業を契機とした首都圏や東北地域でのイベント開催・参加（2014～） ・青森県・函館destinationキャンペーン実施（2016） ・青函圏観光都市会議への参画（2013～2019） ・グルメクーポン、はこだて割など誘客促進事業の実施（2020～） <p>〈海外〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台湾、香港、中国、韓国、タイ、インドネシア、シンガポール、マレーシア、フィリピンなどをターゲットとし、旅行博・イベント等への参加、トッププロモーションや旅行会社・メディア等の招請事業を実施
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・国内においては、ターゲットを明確にし、イベント出展などによる対面のプロモーションと、WEB・SNSを中心とした非対面のプロモーションを両立し、誘致宣伝活動を進める。 ・海外向けには、各国の訪日状況等を踏まえながら、2023年度以降も継続実施。

18-2. MICE の誘致宣伝活動の実施	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・コンベンション主催者である学会・協会などの事務局訪問 ・北海道 MICE 懇談会／商談会、国際 MICE エキスポ（IME）への参加 ・市 HP における MICE 等に関する情報発信
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・当市での MICE 開催実現には長期間に渡るねばり強い交渉や働きかけが必要となることから、今後も継続して当市が参画している「北海道 MICE 誘致推進協議会」が主催する各種商談会や MICE 開催団体等への積極的な参加、訪問により当市を PR し、地道にコンベンション誘致活動を継続していく。

18-3. 修学旅行の誘致宣伝活動の実施	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道新幹線開業を契機とした新幹線沿線地域へのプロモーション ・北海道観光振興機構主催の北海道教育旅行説明会等への参加 ・さいたま市との「東日本連携」を活かした同市での誘致活動の実施 ・将来的に北海道への方面変更が見込まれる地域での誘致活動の実施 ・新型コロナウイルスの影響による方面変更によって来函した学校・地域へのアフターフォロー、誘致活動の実施
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道観光振興機構と連携を図りながら、管内自治体および観光関連事業者との協働により、東北および首都圏を中心に学校・旅行代理店等へプロモーションを継続して行っていく。

18-4. 寄港および就航要請活動の実施	
主な実績	<p>〈航空会社〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国の航空会社への訪問やトップセールスによる路線開設の要請（タイ・シンガポール） ・既に定期直行便が運航している航空会社へのお礼，継続的な運航要請（台湾） ・運休中の航空会社に対し，チャーター便での再開などを呼びかけ（中国） <p>〈クルーズ船社〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイアミでのクルーズ船寄港促進に向けたトッププロモーション（2017） ・東京で「みなみ北海道クルーズセミナー」を実施（2018） ・函館市長をトップとした在首都圏の船社訪問（2018～2019） ・新型コロナウイルス感染症の影響を受けたクルーズ客船について，寄港再開に向けた協議の実施，受入条件の策定
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・国際航空路線の再開にあたっては，コロナ禍の影響により受け入れ体制（CIQ，地上支援業務）が十分に整っていないことが喫緊の課題となっていることから，引き続き関係機関と連携していく。 ・クルーズ船社への寄港要請については，現在の最重要課題である外国船の寄港再開に向け，受入れ体制を万全に整えつつ，トップによる船社訪問やクルーズセミナーの開催などコロナ禍前の活動を徐々に再開していく。

18-5. 「はこだてフィルムコミッション」の活用	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・撮影支援の実施 ・撮影された作品やロケ地情報等のHPやFacebookでの発信 ・「ラブライブ！サンシャイン！！」，「草の響き」などのロケ地マップの作成・配布
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続してロケーション誘致・支援業務を行う。

○長期戦略形成へ向けた取り組み

19-1. 観光アンケート調査の実施	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・観光アンケート調査（2014～2015） ・観光動向調査（2016, 2017, 2019, 2022） <ul style="list-style-type: none"> ～外国人観光客を対象に追加・満足度調査を統合，内容拡充（2016） ～前年に精度向上を目的とした見直しを行い，規模拡大の上実施（2019） ～外国人観光客を対象外とし，対面聴取からWEB回答方式に変更（2022） ※函館国際観光コンベンション協会共催
今後の方針	・観光客へのアンケート調査は，観光客の動向や満足度を調査・分析し，観光施策の企画・立案に資する基礎資料とするほか，函館市観光基本計画で設定している目標値の達成状況を把握することを目的に実施していることから，今後については，次期観光基本計画に対応した内容，調査手法を検討の上，実施する。

19-2. 外国人旅行者ニーズ調査の実施	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・観光アンケート調査の内容を刷新し，調査対象に外国人観光客を加えた「観光動向調査」を実施（2016～）
今後の方針	・コロナの影響により実施が困難となっていることから，感染状況および外国人観光客の回復状況を踏まえ，再開時期や調査手法について検討の上実施する。

19-3. 観光客満足度調査の実施	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客満足度調査（2013～2014） ・観光動向調査に一本化の上実施（2016～）
今後の方針	・観光動向調査として継続実施

19-4. その他関連調査実施の検討	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ビッグデータを活用した「観光客動態調査」を実施（2019） ・教育旅行受入状況調査の実施（2021～）
今後の方針	・効果的な施策立案，事業内容の改善，効果測定などを目的とした調査について，随時検討・実施する。

19-5. 観光アドバイザー会議の設置	
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・観光アドバイザー会議の開催（2014～） <ul style="list-style-type: none"> ～中間評価実施（2019） ～次期観光基本計画策定にかかる検討（2022～）
今後の方針	・次期観光基本計画における進捗管理については，策定の議論の中で改めて検討を行う。